

広報 KASHIBA

かしば

10

2016.10.21

No.592



特集

キラリ☆輝く女性たち

今月の表紙



表紙は香芝市の女性消防団が、初期救急の大切さについて啓発活動を行っている様子です。とても分かりやすく、見ていて楽しく工夫されています。団員の皆さんは披露するまで何度も練習を積み重ねたそうです。

今月の特集は、市内で活躍している女性たちにスポットを当てます。



ひとの動き

— 9月末日現在 —

人口	78,932人 (前月比+74人)
男	37,852人 (前月比+36人)
女	41,080人 (前月比+38人)
世帯数	30,344世帯 (前月比+44世帯)



香芝検定

certificate examination for KASHIBA

男女共同参画に対する市の姿勢を市内外に明らかにし、男女共同参画のあり方や女性の人権問題への関心を高めることを目的に、平成19年に県下初の男女共同参画宣言都市となりました。県内ではもう1市、宣言を行っている自治体があります。それは、次のうちのどの市でしょう。

- ① 奈良市
- ② 大和高田市
- ③ 橿原市
- ④ 生駒市

(答えは13ページにあります)

CONTENTS

もくじ



もくじ…………… 2

市政トピックス…………… 3

平成28年4月1日以降に生まれた赤ちゃんへ
小児のB型肝炎ワクチン予防接種のお知らせ

特集…………… 4

キラリ☆輝く女性たち

ひと◇まち◇かしば…………… 9

- 香芝市敬老会
- 高齢者交通安全推進大会
- 聞こえのサポーター養成講座
- 犬のしつけ方教室
- ノルディック・ウォーク教室
- 市民公開講座

イキイキ！香芝っ子…………… 10

第2回中学生議会 私たちが考えるまち

市民ペンリレー／パパッと簡単クッキング…… 13

市ホームページでも広報かしばをご覧ください。

URL <http://www.city.kashiba.lg.jp>

「録音ボランティア山びこ」による音訳広報があります。
詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。

☎76-7179

次回発行は、お知らせ版 11月7日(月) 広報かしば 11月21日(月)



小児のB型肝炎ワクチン 予防接種のお知らせ

予防接種法の改正で、10月1日よりB型肝炎ワクチンの予防接種が定期予防接種になりました。

◆問合先 保健センター ☎77-3965

肝炎とは？

肝炎は肝臓に炎症が起こり、肝機能に異常を来す病気です。炎症が慢性的になると「慢性肝炎」と呼ばれ、この状態が続くと肝細胞が破壊され、肝臓が硬くなり、疲れやすくなります。やがて黄疸が現れ、肝機能が大きく低下する「肝硬変」の状態になってしまいます。

肝炎の原因の多くは、肝炎を起こすウイルス感染によるものです。このウイルスにはA～Eの型があり、どの型もかかる危険性がありますが、特にB型が感染しやすいといわれています。感染したウイルスが排出されずに肝臓に住みついている状態を「キャリア」といい、「慢性肝炎」へと進んでいきます。慢性肝炎や肝硬変から命にかかわる「肝がん」へと進行することもあります。

予防接種は赤ちゃんのうちに！

B型肝炎ウイルスは血液のほか、唾液、汗や涙といった体液などからも感染します。

小児は、家族や同居人と接触する機会や託児所など家庭以外でも他者と接触する機会が多く、感染しやすい環境にあります。分娩時における母子感染以外に、周囲との接触による感

染が35%を占めています。B型肝炎ウイルスに小児が感染すると自然には治りにくく、キャリア化する可能性が高いです。

もしすでに自費で予防接種を受けていたら…

B型肝炎ワクチン予防接種の対象者で、すでに10月1日より前に予防接種を受けているかたの費用は返金されません。1歳未満までで予防接種の3回中、1回もしくは2回接種したかたは残りの接種は公費で受けることができます。

もし1歳までに3回受けられなかったら…

定期接種の対象者は1歳未満と法律で定められています。1歳を過ぎると公費では受けられないため、体調のよいときに必ず忘れずに接種しましょう。ただし、難病などで医師から接種を控えるように言われていたかたは、保健センターまで相談ください。



小児のB型肝炎ワクチン予防接種

◆対象者 接種するときに次の①～③の条件をすべて満たす小児

- ①香芝市に住民票がある
- ②平成28年4月1日以降に生まれた生後2か月～1歳未満である
- ③今までB型肝炎の予防接種を3回受けたことがない

*母子感染予防措置(HBs抗原陽性の母から出生)のために、B型肝炎ワクチン及び抗HBs人免疫グロブリンの接種を全部または一部を受けたことがある小児は対象外です。

◆接種回数 3回

*1回目と2回目は4週間以上空け、1回目から3回目は20週間以上空けて接種してください。(2回目と3回目は1週間以上空けること)

*B型肝炎ワクチンは、不活化ワクチンです。このワクチンを接種した後は、1週間空ければ他のワクチンの接種が可能です。

◆費用 無料(指定医療機関で接種する場合に限る)

◆接種場所 市内指定医療機関

*詳しくは、個人通知書もしくは予診票つづりを確認ください。

*市外での接種希望のかたは、事前に保健センターでの手続きが必要です。

◆接種方法 直接、希望する市内指定医療機関に電話で予約してください。

*体調のよいときに接種してください。

◆持参物 予防接種時に、記載した予診票・母子健康手帳・健康保険証を持参ください。

*予診票は、対象者に9月から順次送付、または予診票つづりに添付しています。転入されたかたで予診票をお持ちでないかたは、保健センターで配布します。母子健康手帳・印かん・来所者本人の確認ができるものを持参し、手続きしてください。



輝く女性たち

さんいます。今回はそんなキラリと輝く女性たちを紹介します。

協働課 ☎内線 172

少しずつ大きな輪に

市内で男女共同参画社会の構築を目指す活動されている「かしば女性会議」の皆さん。かしば女性会議の発足について、代表の池木さんは「平成11年に男女共同参画基本法ができて、女性の活躍について考える潮流ができました。会は21年前、鈴木知英子前代表のもと、市民のグループとして始まり、それがだんだんと大きな輪になって現在に至ります」とほえみまします。

その人らしさを大切にしたい

「いまだに女性は奥ゆかしいものというイメージがあるためか、キャリアアップを女性自身が望んでいないのではないかと思うときがあります。『女性らしさ』『男性らしさ』ではなく『その人らしさ』で、どんどん活躍してほしいと思います。行政でも数値目標を掲げて女性管理職の割合を増やしてきましたし、世界的に見れば、各国のトップに女性が就任することが多くなりました。女性の進出を阻むものは今まであったと思いますが、女性たち自身が克服しないといけない部分もあると思っています。かしば女性会議では、男性と女性是对等な『横の関係』でありたいと考えているのです」と女性の活躍について話されます。

ともに活躍していく社会に

「ともに働きながら、家庭では家事も二人でこなすことがワークライフバ

ランスの基本」と話す池木さん。「子どもたちが男性も女性も問わず、社会の働き手になるということを認識する流れになってほしいと思います。残業をしないで効率よく仕事をした後は、男性も女性も力を合わせて子育てや介護をする。それを社会もサポートする。向き不向きは確かにあると思いますが、どちらかまたは誰かの役割と決めるのは違っていると思います」と話されます。

池木さんは「夫」「妻」とお互いを紹介するそうです。『主人』『家内』という言葉は主従の関係だと言うからです。男女共同参画を学んでいる人は互いを尊重して『連れ合い』と言ったりします。小さなことかもしれませんが、気付きのきっかけにしてみたいと思います」

気づきがスタート

かしば女性会議では、平成16年に作成した啓発リーフレット「提言あいいうえお」の第2弾作成に取り組んでいます。「男女共同参画について学びが深くなっていくと、今まで気にしていなかったことにひっかかるんです。あたりまえだと思っていたことはあたりまえじゃないと気づきがあります。それを説明したいと、今日的なキーワードを盛りこんでもう一度『提言あいいうえお』を作ろうと今がんばっています。男女平等、さらには多様な性を持つことがたの環境についても考えていきたいです」と熱意を持って答えていただきました。

女性も男性も活躍する社会に

かしば女性会議 代表
池木 郁子 さん



かしば女性会議の学習会の様子



特集 キラリ☆

香芝市内には、さまざまな分野で活躍されている女性がたく

◆問合先 市役所市民

女性消防団に入って

「全国的に女性消防団を作ろうという動きが活発化し、全国でも団員数が増加しています。香芝市の女性消防団は平成23年に発足し、今年で6年目になりました。私は部長となつて3年目になります」と話すのは、香芝市消防団の部長である井上さん。

井上さんは、女性消防団が発足した当時、父親を数年前に亡くされたこともあり、救急や消防について興味を持っておられました。「私は香芝で生まれ育っており、以前から地域に何か一つでも、小さなことでも恩返ししたいと思っていました。そのとき、香芝市で女性消防団が発足するという話を聞き、友人に誘われて入団しました」と入団に至った経緯を話されます。

一から作る

普段の活動について尋ねると「私たちは女性の立場で救急や初期消火など日常生活で身近なことを伝えていきます。紙に書いて配ることは簡単ですが、小さな子どもやお年寄りに分かりやすく伝えたいと思い、お芝居を始めました。啓発で自治会などに行ったときなど、『分かりやすかったよ』と言ってもらえることがうれしく、やりがいがある瞬間です」と話されます。

「私たち女性消防団はここまで、女性消防団の活動について模索しながら

一から作り上げてきました。最近、やっと自分たちの目指す活動ができてきた気がしているところです。もちろん、まだまだ活動の幅は広げることができると思っていますが、一つ一つ積み上げていっている途中だと思っています。家庭があつたり、フルタイムの仕事をしているので、両立が難しいと感じています。どうすれば皆が活動しやすいかを考え、通常は会議を夜に行っています。小さいお子さんを持つ団員に配慮し、初めて午前に行うことを決めました」と団員の意見を取りまとめ、活動の場を広げる意欲を話してくださいました。

私たちが手助けになれば

「団員12名それぞれ、さまざまな経験をしてくれているので、自分の経験を生かして活躍してくれています。例えば、万が一のことが起こった場合、消火活動など体力的、精神的な助けだけでなく、男性には言いづらいと思うこともあると思います。そんなとき、私たちの存在が手助けになればいいなと思っています。特に自治会での活動は、私たちの顔を覚えていただくことができる機会なので、すごくありがたいです。市民のかたが気軽に声をかけやすいように、これからも活動していこうと考えています」と抱負について語っていただきました。

私たちだからできることを

香芝市消防団 部長
井上 良美 さん



女性消防団の皆さん



ワークショップの様子



小児と触れ合う三輪さん

つながりを 大切にしています

子育てコミュニティ「TSUNAGU」主催
香芝市商工会会員 みわ鍼灸整骨院
三輪 妙子 さん



人・地域・社会をつなぐ

三輪さんは、市内で鍼灸整骨院を夫婦で開業され、香芝市商工会にも所属されています。体と心の健康を通じて人・地域・社会の役に立ちたいと、子育てコミュニティ「TSUNAGU」を主催されています。

「筋肉や骨格の専門家として体を治してきて、健康は体を治すことだけではないと感じ、体と心のケアをしたいと思うようになりました。私には5歳と10歳の子どもがいますが、子育てをしながら仕事となると、自分の思うようにいかないことが多く、子どもにいろいろ体験させてあげたいけどできない。それなら自分のところでやればどうかと思い、休院日に親子で参加できるワークショップを始めました。院内には授乳室があり、ハイハイもできる環境なので、小さい子ども連れでも気軽に来てもらえます。お母さんの息抜きができたらいいなと思っていました。それに、イベントなどに参加すると、子どもの興味や能力について新たな発見をしたりするんですよ」と立ち上げに至った経緯を話されました。

輪が広がっていく

「毎回違う内容で、9月で20回を迎えました。講師も市内で活躍されているかたがほとんどです。お互いによい刺激になりますし、来てくれる人もうれし。全員がハッピーに過ごせるようにと思っています。いつ終わっても

いいと思っていたのですが、気が付けば来年の4月くらいまで予定が入っています」と笑顔で話してくださいました。

家事・育児・仕事の両立

家事・育児・仕事のバランスが崩れ、できないことにいらだつてしまい、悪循環となっていたことがあったという三輪さん。

「あるとき、子どもが『お母さん、仕事行つていいよ』と言ってくれたんです。私は母親としてやってあげたいという気持ちがすごくありましたが、やってあげたいということに注目しすぎて、子どもがどう思っているかということまで考えられていませんでした。でも、私が楽しそうに仕事をしているほうが子どもにとってはいいのかなと思い、じゃあ、子どもと一緒にやっていこうと気持ちを切り替えました。できないことを悔やむのではなく、もつとうまくやる方法はないか、日々模索しています」

これから起業するかたに

「『つながり』が大切だと思います。まったく別の分野だとしても、それが必要なかたに紹介してあげたり、逆に紹介してもらうことができます。モチベーションの高いかたとつながると励みになるし、いい刺激をもらえると、何より楽しいと思います。勇気を出して最初の一步を踏み出してほしいです」とエールをいただきました。



学童保育所での交通教室の様子



交通安全啓発の寸劇の様子



地域の交通安全を守りたい

香芝警察署 交通課長

上浪 晶子 さん

香芝警察署の女性課長

上浪さんは香芝警察署で警察官として唯一の女性課長。警察官を目指したきっかけについて尋ねると「婦人警察官募集のポスターを見て、あこがれたからなんです」と笑顔で話されます。

県内の各警察署で勤務された後、平成3年に交通機動隊で県内初の女性白バイ隊員として配属されました。その後、鉄道警察隊、運転免許課や警察学校の教官などを経て、今年の2月に香芝警察署に着任されました。「交通規制の見直し、事故の発生状況に応じた管理、交通安全啓発などを行っていきます。この度、交通安全教室をまとめた寸劇を作りました」と仕事について教えてくださいました。

つらかったけど幸せだった訓練

「一番思い出深いのは、交通機動隊に配属されてすぐに諸先輩がたから白バイに乗務するための厳しい訓練を受けたことです。翌年、その先輩の一人が交通指導取締中、殉職されました。改めて危険な仕事であると認識するとともに、二度と同じことがあつてはならないと全隊員が一致団結しました。白バイを降りた今でも先輩の教えを忘れることはありません」と訓練を振り返ります。

「訓練は今まで受けたことのないほど厳しいものでしたが、あの日々は私の一番の宝物です。コーチは早く一人

前にさせないといけないというプレッシャーの反面、大きなケガをさせてはいけないという気遣いもあり、本当に大変だったと思います。無事白バイ乗務の資格を取得し、その後通算7年間、白バイに乗ることができました」

男性も女性も同じ役割

「正式に白バイ乗務員となつてからが大変でした。奈良県警初の女性白バイ隊員としてマスコミに注目され、他の隊員よりも先に表舞台に立つこともあり、それに対する反発で苦しさや難しさを感じました」と苦労を話されます。

「今は男女の差というものを感じることはないです。例えば警察学校では男性も女性も重装備で全く同じ訓練を行いますし、交番の夜勤では、女性もほとんど仮眠も取らずに勤務しています」と教えてくださいました。

香芝警察署管内での交通事情

香芝署管内での交通事情を聞くと「残念なことに、香芝署管内では県内で唯一、前年より交通人身事故の件数が増えています。特に高齢者による自転車の事故が増えています。重大な事故を防ぐためにもヘルメットの着用をお願いしたいです。一人一人、事故に遭わない、起こさないように注意してほしいです。私たちはこれからも啓発活動を行っていきます」と市民の安全を守る決意を語っていただきました。

性別を問わず、活躍できる社会を目指して

男女共同参画社会とは

男女共同参画社会は、男女共同参画社会基本法第2条によると「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」とされています。

社会全体で取り組むために

香芝市は平成19年に県内で初めて男女共同参画宣言都市を宣言しました。

毎年6月23日～29日は男女共同参画週間です。今年の6月23日には、啓発活動の一環として、ポケットティッシュ



男女共同参画週間
啓発活動の様子



男女共同参画週間
記念講演会の様子



マザーズセミナーの様子

をかしば女性会議会員のたかや人権擁護委員のかたの協力の下、近鉄五位堂駅、近鉄二上駅周辺で配布しました。また6月25日には、奈良女子大学研究院生活環境科学系教授の松岡悦子氏を迎え、「産み育てやすい社会とは？」というテーマで男女共同参画週間記念講演会を開催しました。参加者からは「非常に分かりやすい内容でした。働きながら子育てをしているものとして、興味を持ってました。奈良県の出生率、女性の労働力率には驚きました」「少子化問題や現在の生活水準などの内容もあって、男社会の中で子どもを持った女性がどれだけ働きにくいかわかりました」などといった感想が聞かれました。

ながら仕事を探している女性や、再就職を目指している女性などに向けたマザーズセミナーを開催しました。セミナーでは、面接のポイント・心構えのほか、求職活動の進め方、応募書類の書き方などについて説明があり、就職に関心を持つ女性が参加しました。

第2次男女共同参画プランの策定

市では現在、女性活躍推進法に基づく推進計画と一体化した「第2次香芝市男女共同参画プラン」の策定に向けて取り組みを進めており、市民意識調査や市内事業所の実態調査を行い、課題について研究しているところです。プランの策定後は、本市の男女共同参画社会づくりの指針として活用していきます。

女性法律相談

女性が抱えるさまざまな悩みについてともに考え、自ら解決方法を見出せるように相談事業を実施しています。

- ◆日時：毎月第4水曜日 午後1時～4時
- ◆場所：総合福祉センター
- ◆対象：市内在住の女性
- ◆定員：先着6名
- ◆相談員：奈良弁護士会所属弁護士
*相談員は女性です。
- ◆相談時間：1人あたり30分
- ◆費用：無料
- ◆申込方法：電話で予約を受け付けます。
(1か月前より受付)
- ◆申込先：市役所市民協働課 ☎内線173

奈良県子育て女性就職相談

「子育て中に働きたい」「空白があり、自信がない」と考えている女性を対象に、子育てに関することや計画的な就職活動などをアドバイスします。

- ◆日時：毎月第2火曜日 午前9時～正午
- ◆場所：市役所会議室棟・第1会議室
- ◆対象：市内在住の女性
- ◆定員：先着3名
- ◆相談員：キャリアコンサルタント
- ◆相談時間：1人あたり約50分
- ◆費用：無料
- ◆申込方法：電話で予約を受け付けます。
(1か月前より受付)
- ◆申込先：奈良県子育て女性就職相談窓口
☎0742-24-1150

香芝市敬老会

9月19日(月・祝) モナミホール

長寿を祝い、健康を願う香芝市敬老会を開催しました。今年度、米寿を迎えたかたは237人です。

式典の中では、午前中に実施した健康ウォークラリー大会(老人クラブ連合会主催)の各部門賞と総得点による優勝チームなどが発表され、表彰されました。第二部のカラオケ大会では、地区老人クラブからの出場者が自慢ののどを披露しました。最後に、かつみ♡さゆりによる漫才が披露され、参加されたかたは楽しいひとときを過ごしていました。



高齢者交通安全推進大会

9月27日(火) モナミホール

香芝市交通安全対策協議会は、高齢者に正しい交通ルールと交通マナーを習慣づけてもらうことにより、高齢者の交通事故防止の徹底を図るため、高齢者交通安全推進大会を開催しました。

中村康雄香芝市老人クラブ連合会会長により交通安全宣言が宣言されたあと、香芝警察署、香芝地域交通安全活動推進委員協議会による高齢者の自転車事故防止について寸劇などを通じて、参加者は交通安全に対する意識を再確認しました。



聞こえのサポーター養成講座

10月4日(火) 総合福祉センター

「聞こえの不自由な人もいきいき暮らせる香芝」を目指し、耳が聞こえにくい人々を支えるボランティアを養成する講座を開講しました。この講座は、聞こえに不便を感じるかたについて理解を深めるための講義や実習を交え、全8回行われます。

この日は、江波仁氏を講師に招き、「耳のしくみ」をテーマに耳の器官や聞こえとは何かということ学びました。参加者は、真剣な面持ちでメモを取りながら受講していました。



犬のしつけ方教室

10月5日(水)・6日(木) 市役所

飼い犬が、人や他の犬とよい関係が築けるように、犬のしつけ方教室を開催しました。

初日は犬が問題行動をとってしまう理由や対処方法について講義があり、2日目は犬が自発的に考えるように学習させながらしつけるトレーニング方法を実践しました。初めのうちは興奮していた犬も、トレーニングにより少しずつ落ち着き、飼い主の言うことを聞くようになり、飼い主は愛犬の変化に驚いていました。



ノルディック・ウォーク教室

10月5日(水) 総合体育館

ノルディック・ウォークは、両手にストックを持って歩き、一人ひとりの体力や運動不足の解消などといった目的に合った歩き方ができる、子どもから高齢者まで誰もが楽しめるスポーツです。

この教室は、市体育協会により10月～12月まで開催されます。この日は教室の初日で、ストックの持ち方や正しい姿勢での歩き方などを教わりました。参加者同士で話しながら練習し、教室は和やかな雰囲気でした。



市民公開講座

10月7日(金) 総合福祉センター

今年度の市民公開講座は「子育てを上手に楽しむⅡ」と題し、全4回行います。

この日は、大阪樟蔭女子大学の田谷千江子氏を講師に招き、100名近くの参加者が集いました。「子どもを伸ばすほめ方・しつけ方～お母さんの魔法の言葉が子どもを笑顔にする～」をテーマに、あつという間に過ぎる乳幼期の貴重な時間の子どものつきあい方について考えました。





第2回中学生議会

私たちが考えるまち

自分たちのまちづくりについて自ら考え、自ら発することにより、市政への関心や理解を深めることにつながります。未来の香芝を支える中学生が今、考えていることを質問しました。中学生の堂々とした様子を報告します。

◆問合先 教育部総務課 ☎内線404



香芝中学校
西埜 玄造議員

選挙権年齢引き下げについて

選挙権が満18歳以上に引き下げられたことについてどう考えますか。18〜20歳に対し、投票率向上のため、具体的な対策はありますか。

皆さんが多様な情報に接し、自分の考えを育んできた世代であり、未来の日本に生きていく世代であることから、現在・未来の日本の在り方を決める政治に参与してもらいたいということで、いいことだと考えています。

また、投票率を上げるため、10代有権者への選挙啓発として今年2月に香芝高校で「選挙講座」を題材とした出前講座を、5月に智弁学園奈良カレッジ高等部で模擬選挙を実施しました。さらに、7月10日の参議院議員選挙の投票受付事務員として、18歳、19歳のかたも対象に公募採用しました。



香芝中学校
久保 虎楠議員

香芝市の税収入について

人口増加に比べ、今年度の市民税の収入が多くなっていると思うのですが、何か対策をとったのでしょうか。

市民税の収入が増えた主な理由は、納税義務者数や個人所得が増えたことによるものと考えています。平成27年度の納税義務者は、前年度より約550人増えています。また、景気が回復基調にあることから企業の業績が回復し、給与所得などが増えたことも要因と考えています。

さらに、収入を確保するために何ら理由や連絡もなく税金を滞納しているかたに対して滞納整理を強化しています。奈良県、大和高田市とともに特別滞納整理チームを編成し、徴収が困難な事案に積極的に取り組んだことも収入が増えた要因となっています。



香芝中学校
園 梨々花議員

学習環境の改善について

暑い日が続き、厳しい学習環境となっていますが、市はどのように考えていますか。クーラーの設置などの対応はありますか。

扇風機は平成25年度の調査の結果、必要な場合、増設しています。クーラーの設置については、香芝市公共施設等総合管理計画の策定に歩調を合わせ、学校の改修計画と一体で空調設備整備計画を策定し、整備していきます。

2中学校に冷水器の設置がありますが、利用されていないものがあるのも現状です。設置場所、水道・排水の確保などが必要であり、学校とも十分に協議したいと考えています。学校間で格差なく、今後とも整備に努めてまいります。





香芝西中学校
永井 栄太議員

交通事故防止対策について

カーブミラーや信号、自転車専用道路を作り、事故防止に努めてほしいです。

カーブミラーは見通しの悪い交差点や交通事故の可能性が高い場所に、安全性確認の補助設備として設置します。設置は基本的に自治会などからの要望を受け、道路の形態や通行量など総合的に検討し、場合により、警察署とも協議を行い、設置の可否を決定します。設置できない場合は、路面表示などで注意喚起しています。



香芝西中学校
西川 陽菜議員

市が一番力を入れていることについて

他市町村と比べて香芝市が一番力を入れていることはありますか。

「誰もがあこがれる住み良い美しいまち」をテーマに業務に取り組んでいます。実現するには一つの分野だけではなく、さまざまな分野に力を注ぐ必要があります。「魅力ある誰もが暮らしやすいまち」「健全で力強い財政」「0歳から15歳まで安心して子育てできるまち」「商業産業の活性化と

企業立地」を支柱にし「暮らしてよし」「働いてよし」「産み育ててよし」の香芝市を目指しています。



香芝西中学校
村田 明莉議員

香芝市の観光について

市は現在、観光業でどのくらいの収入がありますか。また、観光に関して行っている工夫や対策はありますか。

市の予算に直接入る観光業としての収入はありません。間接的な効果については今後の研究材料にしたいと思っています。

市では「ふれあいフェスタ」「冬彩」「産業展」などのイベントを実施しています。昨年度には相撲発祥の地にちなんだイベントを開催しました。他にも葛城地域の4市1町が連携し、この地域を舞台にした映画製作を進めています。また、香芝ブランドを創設し、市の魅力を広く発信できる産品などを認定し、全国に売り出したいと考えています。多くの人が市に関心や誇り・愛着を持ち、地域全体の活性化につなげたいと考えています。



香芝北中学校
藤門 亜維議員

香芝市のPRについて

市出身で幅広く活躍されているかたに協

力をお願いし、PR動画などを発信するのはどうですか。

常に市民サービスという視点で市民に公平にお知らせすることに注意しています。「広報かしば」「お知らせ版」の発行のほか、市外のかたにもご覧いただける「ホームページ」を主な媒体として広報活動を進めています。その他にも地域振興活動を通じて、産官学連携の促進に向けた協定の締結や香芝ブランド認定制度など、市内外に情報を発信し、香芝の魅力をさらに高める努力をしています。

また、無料動画サイトは無料視聴分には強制的に一般事業所の広告がランダムに入ります。公共団体であるため、アクセシビリティの問題も解決する必要があります。また、市出身の有名人の登場する広報活動ですが、公費負担など条件を整えるには注意を要すると思っています。



香芝北中学校
堀 耀香議員

学校のICT化について

学校のICT化についてどのように考えていますか。

ICT機器の活用、整備計画を立案し、皆さんがどのように学習されるか、学習指導要領の改訂内容も踏まえながら、国の水準の内容に則した対応を進めたいと考えています。また、インターネット環境のことでなく、市内小中学校の計画に沿って整備を進めたいと考えています。





香芝北中学校
佐野 尊議員

香芝市の待機児童について

市の待機児童は0ということですが、人口増加するとさまざまな問題が発生すると思いますが、どうお考えですか。

本市では市立鎌田幼稚園に五位堂保育所の分園を設け、5月1日現在、待機児童0を達成しています。

今後は、低年齢児に特化した小規模保育所の募集や公立保育所の建替えなどにより保育人数の増加に対応します。また、私立保育園が定員を増やす場合などに補助金を出すなどの対応も考えています。



香芝東中学校
青井 かりん議員

市の防災対策について

公共施設の耐震工事の進捗状況を教えてください。また、どの程度の震度を想定し工事が進められていますか。

公共施設の耐震化率は92%であり、特に学校においては100%完了しています。本庁舎の耐震工事も完了し、

中央公民館、モナミホールには、今年度と来年度において耐震工事を予定しています。本市の耐震工事は一般的に震度6強〜7程度規模の大地震発生時に安全であると考えられているレベル以上の設計を行っています。

また、水道施設は来年度で配水タンク施設のすべての耐震化が終了となり、南海トラフ巨大地震の震度6強やその他に想定されている震度7程度の地震に対応できるものと考えています。



香芝東中学校
山田 小街議員

安全・安心なまちづくりについて

市内に街灯が少ないので、通行量にかかわらず街灯を増やしてほしいです。

また、近鉄五位堂駅前の交差点は、横断歩道の青信号の時間が短いので、他県で導入されている人と車の数を調べて時間を調整する信号の導入を提案します。

地域の防犯灯の設置・維持管理の情報は地域のかたが一番ご存知のため、基本的に各自治会中心に進めています。市では自治会が設置する防犯灯の設置費用と電気料金の一部を補助金として支出しています。気付いた危険な箇所があれば、まずご家庭で話され、地域の自治会で相談してみてください。

い。

信号機の設置及び要望は奈良県警察本部で行っています。近鉄五位堂駅北側の交差点の信号機は、横断歩道を渡る通行量は東西より南北に渡る人が多く、南北の横断歩道も2車線分と距離も短いため、歩行者用の青の時間は現状で十分だと考えていますが、意見は香芝警察署にお伝えしたいと思います。

また、都心部でテスト運用されている横断歩行者を感知して青時間を自動的に延長する信号機は、交差点南北の距離が短いため、近鉄五位堂駅北側交差点の導入は難しいと思われます。



香芝東中学校
市橋 航議員

学校施設の維持管理について

学校の窓や扉の修理、虫対策用に窓に網戸の取り付けを希望します。

また、プール横の更衣室の整備や洋式トイレを増やしてほしいです。

窓などの修理、網戸の取り付けなどは状況を確認し、学校側と協議しながら取り組みを進めます。トイレ・プールは、現状確認を行うとともに改善可能な部分に対応を進め、トイレの洋式化など抜本的な改修については、計画的に大規模改修時に併せて行っていきたいと考えています。

中学生議会を終えて一



香芝高校
真鍋 綾菜議長・前川 翔平議長

今回の中学生議会は、香芝高校の生徒会の2人が交代で議長役を務めました。議会を終え、前川君は「普段知れないことを知れました。香芝市がこれからしようとしていることが分かっていい経験になりました。中学生がこんなにしっかり発言していることが誇らしい。堂々とした意見を聞けてうれしかったです」と話し、真鍋さんは「緊張したけど、大きな失敗もなく、安心しました。中学生は専門用語など難しい言葉を使い、しっかり発言をしていますが、すごいと思いました」と感想を述べてくれました。



感謝を込めて

私は、この香芝市で、大切な縁を二つもりました。一つは「家族」、そして、もう一つは「仲間」です。

私のライフワークは地域のコミュニティづくりです。子どもたちや親子のコミュニティ、そして、東中学校コミュニティ協議会「ばれっと」は、学校の先生や保護者、地域の人が集まる大人のコミュニティです。実は、この「ばれっと」の原点は、私の大好きな仲間たちなのです。一人一人さまざまな考えを持つ仲間たちの意見は、目からうろこ。いろいろな考え方があっていいし、当たり前ということや、人を受け入れることの大切さを、仲間たちとの関わりから教わりました。

何より、この仲間たちは全力で私を受け入れ、応援をしてくれているのです。人の応援の力って本当にすごいですよ。私はこれまで、家族、コミュニティの場に参加してくださる人、周りのかたがた、そして、この仲間たちの応援のおかげで活動が続けることができたのですから。一人の応援があれば力は三倍にも四倍

多田 美砂さん

にもなり、多数の応援があれば、それは計り知れない力となるのです。

そして、背中を押してくれる応援もあり、これからも活動を続けていくために、昨年NPO法人を立ち上げました。これからは私が今までしてもらったように、私の周りの人を応援して、小さな小さな種をまいていきたいと思っています。その種がいつか育ち、花開き、実を付けて、また種をまき・・・たくさんの人に笑顔が広がっていったら、こんなにうれしいことはありません。

これからも、どうぞよろしくお願いします！



今回は岡本さんにリレーします。

香芝検定のこたえ ④

生駒市は、平成20年に宣言しました。香芝市は、「かつりよくある しごとと家庭・地域社会を ばらんすよく大切にする しみのまち香芝市を創るため お互いに尊重し 認め合い 支え合い とともに参画し 高め合い 家庭 地域 学校 職場で 一人ひとりが自分らしく輝き 心豊かにいきいきと暮らせるまち“かしば”をめざす」と宣言しました。

☆編集後記☆

近年、今までにも増して女性の活躍は目覚ましく、8月に行われたオリンピックでも多くの女性メダリストが誕生しました。今回特集でご紹介したかたも、前向きで活力に満ちあふれたすてきなかたばかりでした。取材を通じ、自分のできることから少しずつ始めていくことや人との関わり大切さに改めて気付きました。

<雅>

パパッと簡単
クッキング！

フライパン1つで
できて簡単☆

No. 19

さつまいものいため煮

(1人分101kcal)



【材料(2人分)】

さつまいも…100g	黒ごま…小さじ1/2
さとう…大さじ1/4	油…大さじ1/2
しょうゆ…大さじ1/4	酒…大さじ1/2

【作り方】

- ①さつまいもは、皮をつけたまま8mmくらいの厚さの斜め切りにして、方向を変えて7mmくらいの千切りにして、水につけてあくを抜く。
- ②フライパンに油を熱し、水気をふいたさつまいもを中火でじっくりいためる。
- ③少し硬さが残る程度になったら調味料を加え、いため合わせる。最後に黒ごまをふりかければできあがり☆

*レシピ協力：香芝市食生活改善推進員協議会

時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を超えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。皆さまのご提供をお待ちしています。

詳しくは、市役所秘書広報課まで問い合わせください。

☎76-2001 (内線304)

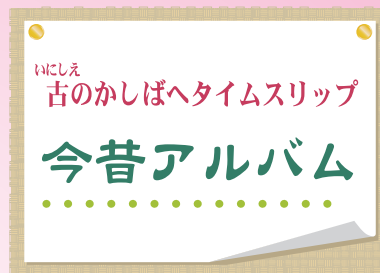


現在の様子



昭和59年
(1984年)

増井さん(関屋)提供写真



広告

広告

広告